

誰もが誰かのサンタになれる。

H₂Oサンタ

チャリティー活動報告



子育てはみんなで

「子どもにはご飯をお腹いっぱい食べさせてあげたい」これって贅沢ですか？ではこれは？「子どもにサッカーを習わせてあげたい。子どもを塾に行かせてあげたい」コロナ禍で家計が厳しく、お米が買えない家庭があります。また、家計を何とかやりくりして、習い事や塾代を捻出する家庭もあります。でもそれが「贅沢」と言われることも。子どもが家庭や学校以外で過ごし、体験を重ねながら地域の多様な大人や子どもと関わりを持つことは、自立して社会生活を営む力の育成につながると言われています。

1位沖縄県、続いて滋賀県、鳥取県、東京都、長野県、大阪府…。これは人口当たりの子ども食堂の充足率（※1）の順位です。都市部だけでなく、全国の地域社会に活動が根付いていることがわかります。子ども食堂は現在、5,000箇所以上に拡大し、呼び方も“みんなの食堂”や“地域食堂”など様々。コロナ禍では、お弁当を配るなど何らかの形で子どもたちと関わる方法を探るところもありました。しかし、感染防止や活動資金不足などの理由で活動を自粛せざるを得ないこともありました。子ども食堂は行政が直接実施する取り組みではないため参加に制限はなく、年齢、親の収入などを問わず誰でも参加できることが基本です。魅力はみんなでごはんを食べることはもちろん、親公認で子どもが夜まで友達と一緒に居られる、大人や大学生のお兄さん、お姉さんにお話を聞いてもらえる、といった声を聴きます。子ども食堂は“地域社会が子どもを育てる”ことを具現化した、子どもの未来を開く取り組みです。

私たちH2Oサンタは、子どもたちに寄り添う社会貢献団体の活動を多くの方にご紹介し寄付を募るなど、地域の皆様にチャリティーの機会を提供しています。

ご支援よろしくお願ひします。



一般財団法人H2Oサンタ
事務局長 外間孝次

※1 NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ「子ども食堂全国箇所数調査2020」より

地域社会にチャリティーの文化を 創造するために。

8月10日(火) 賛助会員のみなさまに、H2Oサンタの
1年間の活動をオンラインで報告いたしました。



『2020年度一般財団法人H2Oサンタ活動報告会』は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、初めて双方向コミュニケーションを取り入れたオンラインで開催し、多くの賛助会員様にご参加いただきました。

2020年度はイベントの中止や縮小が相次ぎ、社会貢献団体の活動をPRする場所や機会が制限されました。H2Oサンタでは、オンラインの取り組みを強化し、子ども支援に関わる37の社会貢献団体を取材。コロナ禍の困りごとや新たに取組まれている活動などを団体ごとに5分程度にまとめた動画“コロナ禍レポート～子ども

支援の現場から～”を、H2Oサンタの公式YouTubeチャンネルで配信。その他、初オンライン開催の『レッドノーズデー』など、社会貢献団体と連携したイベントや、寄付集めのイベント『世界にひとつだけのブライス チャリティーオークション』、従業員のボランティア、SNSでの発信など1年間の活動をご報告いたしました。

そして、社会福祉法人大阪ボランティア協会理事長 早瀬昇氏による基調講演(事前収録)『コロナ禍での子ども支援現場の実情』を配信いたしました。次ページからは、その内容を抜粋してご紹介いたします。



基調講演『コロナ禍でのこども支援現場の実情』

社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長 早瀬 昇 氏



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、こどもたちやひとり親家庭が大変厳しい状況にあります。また、こどもたちを支援する社会貢献団体も、同様に苦しい運営状況にあります。その実態を、様々なデータを基にお伝えします。

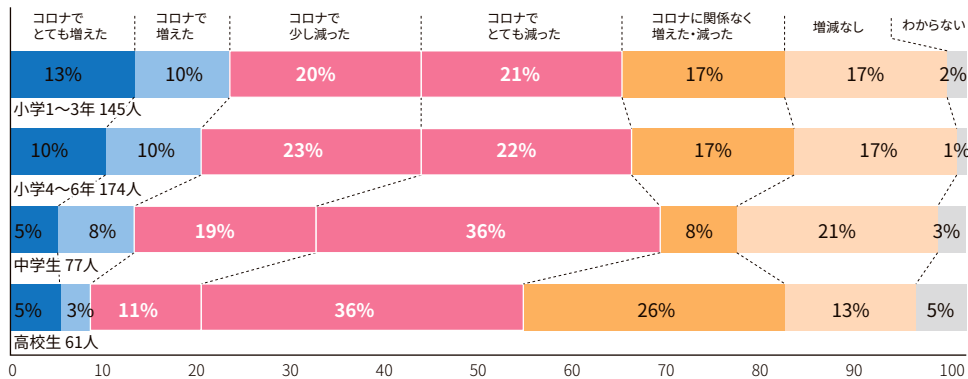
● コロナ禍、こどもたちの今

国立成育医療研究センターが小学生(1~3年、4~6年生)・中学生・高校生を対象に実施した調査によると、新型コロナウイルス感染症拡大以降、『友だちと話す時間』や『楽しいと思うこと』が減ってしまったと感じているこどもたちが、それぞれ全体の半数に近い割合でいることが分かりました。特に小学校高学年から中学生、高校生に多く見られます。中には、学校に行

きたいという気持ちが減ってしまったという声もあり、緊急事態宣言による休校で友だちに会えない寂しさに加えて、対面での授業がなく勉強についていくのが厳しいという実情も見受けられます。

学校だけでなく児童館や公民館などの施設も大部分が閉館となり、こどもたちが同世代と遊び、交流する場所や機会が大幅に減少したことは、こどもの成長や教育において重大な問題です。

■ 新型コロナウイルス感染症拡大以降の友だちと話す時間



(出典) 国立成育医療研究センター 第5回調査報告書『コロナ×こどもアンケート』2021年2月19日~3月31日調査

● ひとり親家庭の困難な経済状況

こども全体の状況が厳しい環境にありますが、特に心配なのはひとり親家庭のこどもたちです。認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむが2021年2月の家計状況を全国で調査した結果、コロナ禍による収入の減少など経済的な事情から、生活に必要な食料品が買えない家庭が多数あるということが分かりました。米が買えない割合は36.2%、野菜は48.3%、肉・魚については53.4%と半数を超えています。服や靴、おもちゃや文具についてはいずれも50%を

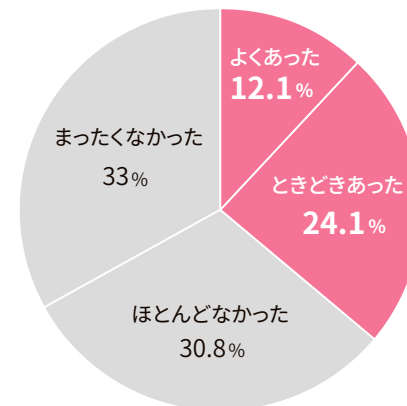
超えており、買えない割合が食料品に比べて高くなっています。

日本では女性の就労機会が少なく、立場も弱いのが現状です。新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年2月以前よりも収入が減ったという方が4~5割を占め、貯金が10万円以下という家庭が増えています。このように新型コロナウイルス感染症の拡大は、ひとり親家庭の生活を脅かし、こどもたちの環境をますます悪化させていることが分かります。

■ 厳しい暮らし向き

[2021年2月中の暮らしを振り返って経済的な理由で、家族が必要とする食料や衣料などを買えないことがありましたか?]

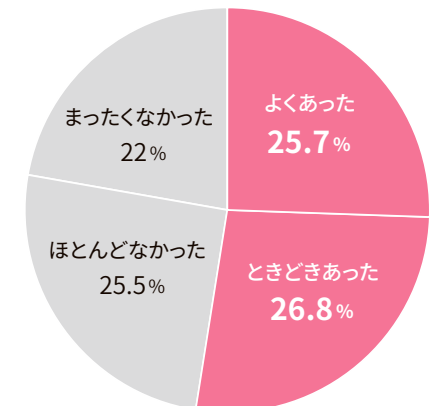
食料(米などの主食)を買えないこと



よくあった
ときどきあった

36.2%

こどもの玩具・文具・学用品を買えないこと



よくあった
ときどきあった

52.5%

(出典) 認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ『新型コロナウイルスの影響によるシングルマザーの就労・生活調査』2021年3月パネル調査

活動を継続するために。 コロナ禍における社会貢献団体の奮闘

● サポートする側の運営も困難に

様々な形で子どもたちを支援してきた社会貢献団体も、新型コロナウイルス感染症拡大以降、運営に大きな影響を受けました。子どもたちと密な関係を築き、寄り添って話を聞いて活動していたため、ソーシャルディスタンスが叫ばれてからは直接サポートすることが難しくなり、ボランティアの参加を抑制せざるを得なくなりました。また、イベントの中止が続き、活動を知ってもらい寄付を募る機会が失われ、財源の確保も厳しくなっています。

● 新たな活動方法にシフトチェンジ

そこで、今までは時間を合わせて同じ場所で一緒に活動していたことを、それぞれが自宅などで別々に行うようになったり、時間は合わせて分散するオンラインでの活動をしたり、時間は合わせず情報を共

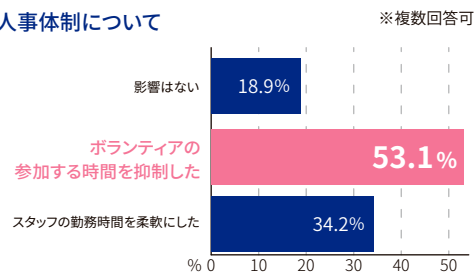
有するサイトを作って集ったり、活動を続けるための方法を模索しました。

● 知恵を寄せ合い、真似し合う大切さ

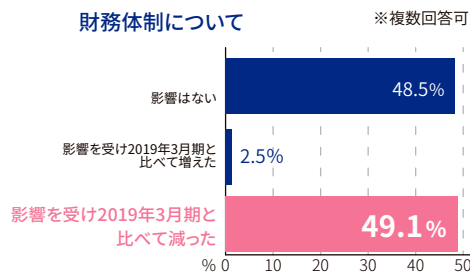
困難な状況に面した時、情報を共有し合うことはとても有意義です。20,000人を超える日本の大学教員が参加したFacebookの事例ですが、コロナ禍における大学生をサポートするための知恵を分かち合うサイトを作成したのです。そこでは、学生の悩みの共有方法や、オンライン授業の進め方、Wi-Fi環境のない学生のサポート方法などについて議論されました。みんなで知恵を寄せ合い、そこで得た知識をどんどん真似し合う。非営利の世界では、特定の人の持ち物という考え方をあまりしません。みんなで作ったものをみんなでシェアするという方法が広まれば、問題解決に導きやすくなるのです。

■ 団体への影響

人事体制について



財務体制について

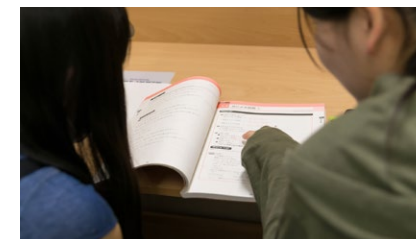


(出典) 社会福祉法人大阪ボランティア協会『新型コロナウイルス感染症が市民活動に及ぼす影響に関する調査』2020年4月6日～4月16日調査

オンラインという新しい支援方法を 手探りで確立させていく

● NPO 法人あっとすくーる

大阪府箕面市を拠点に、ひとり親家庭の子どもたちの学習支援活動をしています。2020年4月の緊急事態宣言発出後、すぐにオンラインでの学習支援を開始しました。すると、全国の大学生が講師のボランティアに名乗りをあげてくれたのです。オンラインのメリットが活かされました。学習意欲が高くない子どもには、オンラインでの学習がなかなかうまく合わないという悩みもありましたが、しばらく様子を見たあと感染予防対策をしっかりと整えたうえで、対面で指導する機会も設けました。



● 認定NPO 法人日本クリニクラウン協会

長期入院生活を送る子どもたちの支援活動をしています。従来は、赤い鼻をつけて臨床道化師ともされる“クリニクラウン”（クリニック〈病院〉とクラウン〈道化師〉を合わせた造語）が入院中の子どもたちに定期的会いに行っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大以降は、家族でさえも面会が難しくなり、活動ができなくなりました。そこで、オンラインで子どもたちとつながり、楽しんでもらう取り組みをスタート。Wi-Fi環境が整備されていない病院もあり、随分と苦勞されたようですが、オンラインの活用を確立し、活動を継続しています。



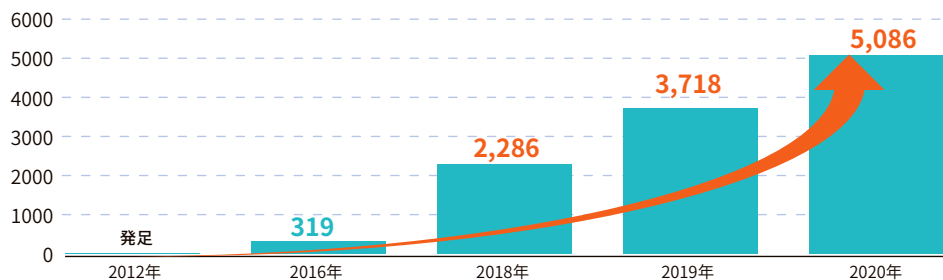
感染拡大予防対策を講じながら 食をサポートする『こども食堂』

● コロナ禍でも安定した食事を提供

NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえの2020年12月時点のデータによると、こどもがひとりでも行ける無料または低額の『こども食堂』が、全国に5,086ヵ所あることが分かりました。『こども食堂』は2012年頃から増え続け、2020年2月以降のコロナ禍においても、少なくとも184ヵ所の新設が確認されて

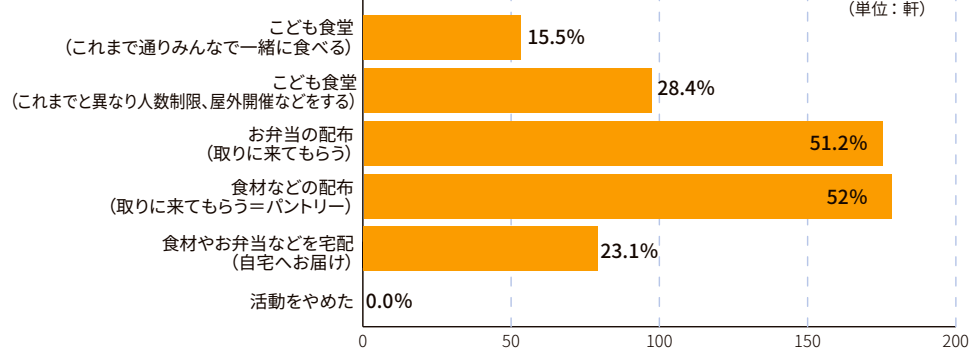
います。ひとつの場所に集まってみんなで食事することは密になるため、継続が危ぶまれたこともありましたが、食材を取りに来てもらうフードパントリー形式にしたり、お弁当の配布を行ったり、人数や時間を制限して再開したり、場所を屋外にしたりと、様々な工夫を凝らして、『こども食堂』の活動を継続しています。

■ 増加が続く『こども食堂』



(出典) NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ『こども食堂全国箇所数調査2020』2020年12月調査

■ コロナ禍における『こども食堂』の開催状況について (2020年9月現在)



(出典) NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ『こども食堂の現状&困りごとアンケート結果 Vol.3』2020年9月20日～9月28日調査

全てのこどもたちが、自分らしく 笑顔でのびのびと過ごせるように

● こどもたちの、生きるを支える

このほかにも、こどもの社会参加や生活をサポートする団体は多くあります。神戸市兵庫区社会福祉協議会では、こども自身が役に立てる体験をして自己肯定感を高められるよう、こども向けの『自宅でできるボランティアプロジェクト』を昨年春から開始しました。

また、応援給付金という形で直接支援する団体もあります。子どもの貧困対策センター公益財団法人あすのばでは、生活困窮状態にあるこどもたちを入学・新生活応援給付金で応援。2021年4月の小中学校入学生に3万円、中学校卒業生に4万円、高校(それに準ずる学校を含む)卒業生に5万円を、全国から応募があった中から3,050人に支給しました。この原資は寄付で賄われましたが、想定額以上の寄付が集まりました。予定よりも多くのこどもたちに支給することができました。



● できることから一歩ずつ

ご紹介したように新型コロナウイルス感染症の拡大は、ひとり親家庭をはじめ、こどもたちの日常生活に大きな影響を及ぼしました。そして、本来は人に寄り添って活動をしている社会貢献団体の運営にも困難をもたらしています。しかしこのように長引く厳しいコロナ禍でも、社会貢献団体は持ち前の開拓者精神を存分に発揮し、こども支援を継続するための新たな活動方法について知恵を出し合い、創造し、歩みを進めています。

活動報告会終了後、賛助会員様より“何をすればよいかかわからない一般の人のためにも、H2Oサンタの活動を広めて欲しい”というお声をいただきました。苦難を強いられている

こどもたちに手を差し伸べている団体の支援のため、H2Oサンタの活動を進化させていかなければと再認識しました。

レポート:H2Oサンタ事務局 森田英里



『コロナ禍レポート
～こども支援の現場から～』はこちら



web募金はこちら



チャリティーの輪が広がっています。

万全の感染予防対策のもと、今回もたくさんの方とつながりました。

第13回 NPOフェスティバル

開催：7月14日(水)～19日(月)
会場：阪急うめだ本店 9階祝祭広場

H₂O サンタ NPO フェスティバルとは？

世の中にまだ広く知られていない、こども支援に取り組む社会貢献団体の有意義な活動をご紹介します、寄付を募るイベントです。



『第13回 H₂OサンタNPOフェスティバル』の会場では、前半・後半の各3日間
で計16団体をご紹介します。今回はNPO法人
サイレントボイス(聴覚障害児の居場所作り)
が初登場しました。また、コインの動きから
目が離せないと毎回好評の『おもしろ募
金箱』や、参加無料でもれなく賞品が当た
る『NPOクイズ』、プリント体験ができる
『チャリティーTシャツショップ』、300円
以上の募金でオリジナル缶バッジ制作が
できる『チャリティー缶バッジ作り』などを

実施。チャリティーを身近に感じていただ
ける6日間となりました。16団体の活動に
ついて各ブースでインタビューした動画も
配信していますので、ぜひご覧ください。

レポート：H₂Oサンタ事務局 戸田 功



報告ブログ



YouTube

各団体の
インタビュー動画を
配信



16団体の活動をブースでご紹介

NPO展示ブース

団体ごとに、パネルと動画で活動内容を
ご紹介。ブースには団体スタッフが常駐し、
来場者への説明や団体のチャリティーグ
ッズを販売しました。お客様からは「身内のこ
どものことを相談できて、助かった」「コロナ
禍でできなかったボランティア先を見つける
ことができた」とのお声をいただきました。ま
た、団体同士のコラボ企画の実現に向けた
お話など交流も活発に行われました。



オリジナルTシャツ作りに挑戦

チャリティーTシャツショップ

社会を良くしたいと思う人の気持ちを集めて、ちょっとだけ世界を変えていくチャリティー専門ブランド「JAMMIN」の協力で、それぞれの団体の活動をイメージしたデザインのTシャツを販売。Tシャツを購入される方がシルクスクリーンでプリントする体験企画は、「7色の生地と4色のインクから選択でき、楽しい」と人気で、150枚をご購入いただきました。1枚ごとに700円を、ご購入いただいたデザインの団体へ寄付させていただきました。



参加団体の声

NPO法人つなげる
(多胎児家庭(双子・三つ子など)のつながりを支援)



代表理事 中原美智子さん

「双子が生まれてから初めて百貨店に来ました」とうれしそうにブースを訪れてくださったママがいます。双子ママは周りに気を遣って都会の百貨店に出かけることをためらいがちです。こどもを遊ばせられる場所などの情報を発信しています。

NPO法人コンセント
(児童養護施設や被災地における理美容支援)



代表理事 井上光昭さん

サロンの垣根を越えて美容師が集い、被災地や児童養護施設でボランティアカットを行っています。NPOフェスティバルに参加することで他団体との交流が生まれ、これをきっかけに複数の団体と連携して活動するようになりました。

その他の参加団体

- 認定NPO法人ジャパンハート
- 認定NPO法人日本クリニクラウン協会
- 認定NPO法人プール・ボランティア
- NPO法人子どもセンター めつく
- NPO法人しぶたね

NPO法人オーシャンゲートジャパン
(障害があるこどもたちも楽しめるダイビング体験の提供)



事務局員 福田あいさん(写真左)

対面で様々な方と話せる機会をいただけ、ありがたく思います。ふらりと立ち寄って興味深そうに質問をくださる方もいらっしゃいます。家で過ごす時間が増えている今だからこそ、こどもたちも自然に触れて心と身体をリラックスしてほしいです。

NPO法人西淀川子どもセンター
(こどもの食事・教育支援)



代表理事 西川奈央人さん(写真右)

普段は地域で活動しているので、梅田で広報活動をする場を設けていただき、感謝しています。この機会を通して、多くの新しい出会いや地域の方との再会もあり、うれしく思います。他の団体の方とつながりができることも大きな魅力です。

一般社団法人小さないのちのドア
(妊産婦や赤ちゃんの命を守る活動)



代表理事 永原郁子さん

いのちを宿して産みたいと願うすべての女性が安心して出産を迎えることを願って、妊娠SOS相談を24時間体制で受け付け、相談から自立まで一貫したサポートを行っています。特に誰にも頼れず、行き場をなくした妊婦の支援活動にご協力をお願いします。

NPO法人サイレントボイス
(聴覚障害児の居場所作り)



事業責任者 井戸上勝一さん

普段活動に参加しているこどもたちが作ったチャリティーバッジを販売し、買ってくださった方にこどもたちが簡単な手話を教えるという企画を行いました。「手話を自分のこどもに教えよう」とおっしゃる人もいて楽しいコミュニケーションが生まれました。

※撮影のためにマスクをはずしていただきました。

- NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス
- NPO法人西成チャイルド・ケア・センター
- NPO法人日本こども支援協会
- NPO法人レインボーチルドレン
- 公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所

イベントレポート

オンラインで、会場で、こどもたちの笑顔が咲きました。

オンラインイベント
レッドノーズデー 2021

開催:8月7日(土)

会場:阪急うめだ本店 9階 阪急うめだホール

笑顔のシンボル“レッドノーズ(赤い鼻)”をつけて身近な人と一緒に笑顔を贈りあい、入院中や自宅療養中の全国のこどもたちに笑顔のメッセージを届けるチャリティーイベント『レッドノーズデー』を、認定NPO法人日本クリニクラウン協会の主催で開催しました。昨年に引き続き、感染予防対策をしっかりと行っただうえで、阪急うめだホールから無観客のオンライン配信限定での実施となりました。

臨床道化師とも呼ばれる“クリニクラウン”(クリニック〈病院〉とクラウン〈道化師〉を合わせた造語)たちによるパフォーマンスをはじめ、今年はこちらのこどもたちによる“赤鼻ダンサーズ”と一緒に“あかはなダンス”を踊ったり、大型スクリーンには別会場のクリニクラウンや病棟のこどもたちが映し出されたり、会場と一体になって盛り上がりました。全国38ヵ所・約170名がオンラインでつながり、訪問先の病院からは「あかはなダンス一緒に踊ったよ」の声も届きました。

正午には「ノーズオン!」のかけ声とともに、全員でクリニクラウンのシンボルマー

レッドノーズデーとは?

8月7日(ハナの日)に“レッドノーズ(赤い鼻)”をつけ、入院中のこどもたちに笑顔を届けるチャリティーイベントです。



クの赤い鼻を装着。たくさんの笑顔の花が咲きました。

イベントの様子は、下記YouTubeチャンネル『RED NOSE DAY with CliniClowns カウントダウンイベント』からご視聴いただけます。

レポート:H2Oサンタ事務局 戸田 功



報告ブログ



YouTube

認定NPO法人
日本クリニクラウン協会
公式チャンネル



チャリティー缶バッジ作り in 鉄道模型フェスティバル2021

開催:7月28日(水)~8月9日(月・休)
会場: 阪急うめだ本店 9階会場

『鉄道模型フェスティバル2021』にて、300円以上の募金で体験できるチャリティー缶バッジ作りを実施。約1,200人に参加していただきました。缶バッジ作りが目的だったお子さんも、病氣と闘っているお友

達のことを知ったり、親御さんから「寄付というのは…」と教わったり、有意義な時間を過ごしていただきました。

レポート:H2Oサンタ事務局 中田大三



報告ブログ



HANKYU こどもカレッジ キッズスポーツスタジアム

開催:7月28日(水)~8月9日(月・休)
会場: 阪急うめだ本店 9階祝祭広場

会場に、障害児に水泳体験を提供している認定NPO法人プール・ボランティアのブースを設置。プール用車いすの乗車体験や、ブラックゴーグルと白杖を使った歩行体験を多くのご家族にして

いただきました。様々な制限により外出の機会が少なかった子どもたちにとっても貴重な体験になりました。

レポート:H2Oサンタ事務局 鈴木健志



報告ブログ



読者プレゼント

下記二次元コードからご参加いただける3問のクイズに全問正解し、アンケートにお答えいただいた方の中から

**抽選で毎月2名様に
H2Oサンタタンブラーをプレゼント**



クイズはこちら

- ◎応募締切日:2021年12月~2022年4月の毎月月末
- ◎当選者発表:プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

寄付額合計 4,479,689円

チャリティーガイドやイベント、web募金で集まった寄付金を、48団体へ寄付いたしました。
みなさまのご協力ありがとうございました。

- 認定NPO法人アクセス
ー共生社会をめざす地球市民の会
- 認定NPO法人児童虐待防止協会
- 認定NPO法人ジャパンハート
- 認定NPO法人テラ・ルネッサンス
- 認定NPO法人日本クリニックラウン協会
- 認定NPO法人日本レスキュー協会
- 認定NPO法人ノーベル
- 認定NPO法人ふあそらぼ (FaSoLabo) 京都
- 認定NPO法人プール・ボランティア
- NPO法人アスロン
- NPO法人あっとオーティズム
- NPO法人あっとすくーる
- NPO法人おおさか子ども多文化センター
- NPO法人オーシャンゲート ジャパン
- NPO法人関西子ども文化協会
- NPO法人キャップセンター・ジャパン
- NPO法人子どもセンターぬつく
- NPO法人コンセント
- NPO法人サイレントボイス
- NPO法人しぶたね
- NPO法人弱視の子どもたちに絵本を
- NPO法人ジャーダック (JHD&C)
- NPO法人性暴力被害者センター・ひょうご
- NPO法人全国不登校新聞社
- NPO法人タイ国学生日本語教育環境支援プロジェクト
- NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス
- NPO法人つなげる
- NPO法人つなご
- NPO法人西成チャイルド・ケア・センター
- NPO法人西淀川子どもセンター
- NPO法人日本子ども支援協会
- NPO法人兵庫県子ども文化振興協会
- NPO法人マミー
- NPO法人レインボーチルドレン (Rainbow Children Japan)
- 公益財団法人梅ヶ枝中央きずな基金
- 公益財団法人関西盲導犬協会
- 公益財団法人ジョイセフ
- 公益社団法人アジア協会アジア友の会
- 公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所
- 公益社団法人こどものホスピスプロジェクト
- 社会福祉法人日本ライトハウス
- 社会福祉法人兵庫盲導犬協会
- 一般財団法人日本ドリームボード財団
- 一般社団法人小さないのちのドア
- 一般社団法人ニュールック (mina family)
- 一般社団法人ミナファミリー (mina family)
- 福岡県新型コロナウイルス医療従事者支援金
- 7月豪雨災害HITOYOSHI義援金募金



一般財団法人H₂Oサンタは、H₂Oリテイリンググループの社会貢献団体です。
こども支援をテーマに、地域社会にチャリティーの文化を創造することを目的とした
4つの活動を行っています。

1 社会貢献団体と連携した啓発・募金活動

展示会やイベントで様々な団体を紹介し、寄付を募る活動を行っています。

2 寄付のためのイベント

寄付金を集めるための販売会・展覧会・ダンスイベントなどを開催しています。

3 ボランティアの仲介

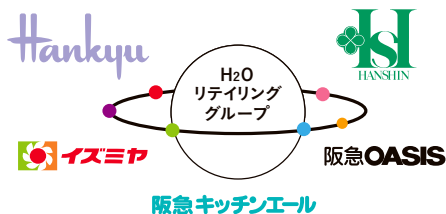
ボランティア活動に参加していただける方々と社会貢献団体をつないでいます。

4 調査・発表

こどもたちに関連する諸問題を調査し、本誌などで紹介しています。

[H₂Oリテイリンググループ]

百貨店、スーパーマーケットなど小売業を核とし
地域のみなさまの生活に貢献する生活総合産業グループです。



賛助会員ご加入のお願い

H₂Oサンタの活動を継続するためには、みなさまからのご支援が必要です。
活動の趣旨にご賛同いただき、賛助会員へのご加入よろしくお願いたします。

【会員種別】

法人会員 —— 1口 50,000円

個人会員 —— 1口 5,000円

【年会費】

<お申込み方法>

右記の
二次元コードから
お申込みください。



法人会員様
一覧



個人会員様
一覧



<問い合わせ先>

一般財団法人H₂Oサンタ事務局

TEL 06-6313-9304 10:00～18:00 ※火・日曜以外

